2019年　10月　15日　　No.167　　発行責任者　田中　孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第167号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

# 郵政 そこまでやるか

## 日本郵政、ＮＨＫのかんぽ問題の報道に圧力

昨年４月、ＮＨＫ「クローズアップ現代＋」で、かんぽ生命の不適正営業が報道されました。この報道に多くの人が衝撃を受けました。郵政という「安心・安全」という信頼を利用してお客さんを騙している営業の実態、その背景に過剰なノルマがあることが知られたのです。

### 異常な郵政の体質は マスコミにも圧力

この報道は反響が大きかったことからＮＨＫは８月に第二弾を予定していました。しかし、郵政から圧力が加わり放送されなかったのです。郵政への批判がこれ以上広がっていくのを恐れ、自社を正当化させるためにＮＨＫに圧力をかけたのです。これは言論や報道の自由を脅かすものであり、絶対にあってはならないことです。

郵政はその理由として、「偏向報道と感じた」と話していました。その後、一転して「今となってはまったくその通り」と認めて反省しています。強気発言から一転して反省する弁は今に始まったことではありませんが、４月の放送時点で謙虚に受け止めお客さんの利益に立った対応をしていれば今日のような大問題にまでにはならなかったのです。

### 郵政の体質改善は 即急に必要だ

かんぽ問題で長門社長は「経営陣にまで情報が上がっていなかった」と強弁しています。しかし、下の意見を聞こうとしない企業体質、上意下達の企業風土は本社経営陣がつくりだしたものです。それを下のせいにするのは二重に許せません。

郵政の体質を改善していくには経営陣の刷新が必要という指摘が金融庁から出ています。こうした指摘にふまえ郵政ユニオンは企業体質と職場環境を改善させていくために引き続き運動していきます。

## 軍拡でなく国民生活改善を

10月４日、臨時国会開催日に合わせて国会前行動が行われました。650人が参加し、「消費税増税ではなく賃上げを」「憲法改悪ではなく社会保障の拡充を」「止めよう沖縄の辺野古新基地建設」等訴えました。

ん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか